

## 職員は市の財産である



職員の定数について



の方向がなされ、順次減らしてきている。ペナルティーはない。

### 議員

臨時職員は現在何人いるか。

### 総務部長

パート、保育士等の専門的な職員を含め、合計470人。

### 議員

定数に余裕があるのに、臨時職員を配置するという理由は、職員を採用すべきである。

### 人事課長

水害時に人手不足となり、後処理等に追われ臨時職員を増員した。見直しは検討していく。

### 議員

職員は昼夜を問わず、復旧・復興に尽力してくれた。現在、職員の時間外の状況はどうなのか昨年と今年の状況は。

### 総務部長

昨年度は11万378時間、本年度は4月から1月まで、3万3853時間である。

### 議員

職員は市にとって大きな財産である。過労によって人材を失うことは市のマイナスになる。市の考えは。

### 市長

今後とも職員の能力向上、健康管理に気をつけたい。

人事課長  
改革プラン等から定員削減へ

議員  
定数が630人で実際の職員は517人、113人定員を下回っている。定数までいくと国からペナルティーがあつて、交付税が減らされるということはあるのか。

議員  
職員の定数は、市の条例で630人と定められているが、現在何人いるのか尋ねる。

### 総務部長

本年1月1日現在、各部署合計517人である。

□ 〇 〇 〇 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 〇 〇 〇



## 複合的防災拠点が必要

広域避難計画の策定について

### 議員

市における避難所設置と東海原発から30キロ圏内（UPZ）の広域避難計画について県が示す、1万6千人を受入れる場所や割り振り、職員の配置といった、体制と避難所運営のあり方について尋ねる。

### 市民生活部長

広域避難計画は県が主体となって進めており、水戸市を含む6市3町で協定を結び、現在、各自自治体への避難人数等を踏まえ、検討を行っている。

### 議員

市内30箇所ですべて一人当たり2㎡といった狭いと思われる試算をしているが、1万6千人を一時避難として受け入れは可能なのか。水戸市から要請があつてからではなく、市としてある程度の試算と内情は。

### 市民生活部長

数年前の調査での試算であり、一昨年の水害の経験から、再検討する必要がある。現在、地域防災計画を見直し中であり、その中で示せると思う。

### 議員

避難所は、学校施設の体育館や公民館となる場合がほとんどであり、使用できなくなると子供達の教育上問題がある。それらを考慮して、防災の拠点となる複合施設が必要であり、それらをつくる考えはあるか。

### 市民生活部長

防災拠点となる複合施設は、重要であり、既存施設も考慮し、設置に向けて努力したい。

### 市長

市としての防災拠点や避難所は、公的施設、ゴルフ場等がある市の西側が適すものと考えているが、1箇所というより広域的な拠点と捉え、公的だけでなく自分の避難先、マイタイムラインの活用も提案していく。

